第 40 回大阪サイクルレース in 堺浜
第 2 回大阪クリテリウム in 堺浜 / 第 1 回大阪タイムトライアル in 堺浜
テクニカルガイド

1. スケジュール

内容	開始－終了予定時刻	場所
９月７日（土）		
開門	９：００	
タイムトライアル一般選手受付	１０：００－１１：００	大会本部
試走	10：３０－１１：１０	コース
競技開始	１１：１５－１１：３０	コース
タイムトライアル表彰式	競技終了次第	大会本部
クリテリウム高校生受付	１２：00－13：30	大会本部
試走	13：３０－13：４５	コース
高校生女子 0.95km× ８周＝ 7.60km 高校生男子 0.95km×15 周＝14.25km	１４：00－14：１５ －14：３０	コース
JCF 登録高校生男子 0.95km×25 周＝23.75km	14：４０－１５：１６	コース
高校生タイムトライアル 0.95km× １周＝0.95km	１６：００－１６：３０	コース
９月８日（日）		
開門	７：３０	
クリテリウム一般選手受付	７：４０－１１：０５	大会本部
試走	７：４５－ ８：００	コース
ビギナー（Ｃ３） 0.９5km×10 周＝ ９.5km	８：１５－ ８：３０	コース
小学生の部 高学年 0.９5km×７周＝ 6.65km	８：３５－ ８：４７	コース
小学生の部 低学年 0.９5km× ４周＝3.80km	８：５５－ ９：０３	コース
中学生・レディース 0.９5km× ８周＝7.60km	９：１０－ ９：２１	こーす
４０オーバーマスターズ 0.９5km×１２周＝11.40km	９：３０－ ９：４７	コース
エンデューロ４５分	１０：００－１０：４５	
スポーツ（Ｃ２） 0.９5km×18 周＝17.10km	１０：５５－１１：２１	コース
エキスパート（Ｃ３） 0.９5km×22 周＝20.90km	１１：３０－１２：０１	コース
ミルキー（当日受付）	１２：１０－１２：２５	コース
JCF 登録女子 0.９5km×２０周＝19.00km （JBCF F クラスタと同時出走）	１２：５０―１３：２２	コース

※クリテリウムの表彰は、各カテゴリーの競技終了後、大会本部にて行う。入賞者は速やかに出席すること。

２．　競技内容

＜タイムトライアル＞

① 1.7km/周のコースを使用する。
② １名ずつのタイムトライアル形式とする。ＴＴバイク、ディスク/バトンホイール、ＴＴヘルメットの使用を認める。
③ スタート時間に遅れた場合はコースの特性上安全を確保する為、最後尾よりスタートとする。
ただし、スタート予定時間から遅れた時間を実走行時間に加えリザルトとする。
④ 高校生タイムトライアルは、クリテリウムコースを正回り１周回で行う。
⑤ 高校生タイムトライアル出場選手は、５ページクリテリウム退出案内図の監察ポイント５付近に集合下さい。

＜クリテリウム＞

① 0.95km/周のコースを使用する。
② 各カテゴリーのスタート１５分前までに検車にて、出走サインを完了し、所定の位置で待機すること。
③ モトの先導によるフライング・スタートとする。
④ アクチュアル（正式）スタートは、隊列が整ったと判断したタイミングで行う。
⑤ 先導モトコミセールの指示に従うこと。

３．　競技規則

（公財）日本自転車競技連盟（以下 JCF と記す）の競技規則集の最新版、大会特別規則により運営する。

＜タイムトライアル＞

① 各自スタート 15 分前までにスタート地点で、検車を受けること。（検車後はスタートエリアに留まること。）
② 選手はホルダー（選手を支える役員）により支えられ、タイムキーパーの指示によりスタートする。

＜クリテリウム＞

① JCF 登録高校生男子、エキスパート(C1)の周回遅れはラップアウトとする。ただし、該当競走の成立に著しい支障を来す場合においては、この限りでない。（数名の周回アップはアドバンテージを認める。）それ以外のカテゴリーは、周回遅れでもラップアウトにしないが、先頭選手がゴールした時点で周回遅れの選手もゴールとする。

② JCF 登録高校生男子、エキスパート(C1) 、JCF 登録女子において、認められる事故（落車、パンク、自転車の重要部分の破損）に限り、**コミセールの認定により**、ニュートラリゼーション 2 周回を与える。

③ ニュートラリゼーションについて

✓ **コミセールに片手を上げる等によりニュートラリゼーションを受ける意思を伝えること。**
✓ 走路への復帰にあたっては、コミセールの指示で事故前に位置していた集団に復帰すること。
✓ ニュートラリゼーションを与えられた競技者は最後の 3 周回以降、復帰することはできない。
✓ ニュートラリゼーション中に最後の 3 周回が始まり競技者が復帰できなかった場合、または最後の 3 周回以降に認められる事故にあった場合、事故時に位置していた集団の最下位の順位とし、同集団の最後尾と同タイムを与える。
✓ 機材の交換は、明示するピットにおいて、各チームでコミセールの確認の下で行なうこと。
（上記②の３つのカテゴリー以外のカテゴリーについては、任意の位置で機材交換できる。）

④ ギア比制限について

✓ JCF 登録高校生選手、高校生男子、高校生女子は、JCF 競技規則（ギア比制限値 7.93m）の通りとする。

なお、当該カテゴリーの U17 の選手についてもジュニアのギア比制限値 7.93m を適用する。

✓上記３つのカテゴリー以外には JCF 競技規則（付表 2-4:ギア比制限・ロード種目参照）を適用しない。

✓ JCF 登録高校生選手、高校生男子、高校生女子は、ギア比制限のチェックを行うことがある。

※ギア比の確認はレース終了後に入賞対象者に対して行うが、コミセールの判断により、入賞対象者以外にも実施する事がある。

⑤ ヘルメットについて

✓ JCF 公認のものを使用すること。（小学生はそれに※準じること）

（※EN 規格、CPSC 規格、ANSI 規格、Snell 規格、SG 規格のヘルメットの着用を認める）

✓ JCF 公認ヘルメットの確認は公認シールの貼付をもって確認する。

４． 選手として守るべきこと

① 最新の JCF 競技規則に則った自転車を使用すること。

自転車の整備は各自で責任を持って行なうこと。

② 参加者は必要に応じて各自でスポーツ安全保険に加入しておくこと。

③ 大会中の疾病傷害については、応急処置は行うが、その後は参加者の自己負担、自己責任とする。

※ 必ず健康保険証をご持参下さい。また大会に掛けられている傷害保険（死亡/後遺症 200 万円、入院 3,000 円/1 日、通院 2,000 円/1 日）は、競技中の疾病であっても、事故当日に届け出がない場合、保険が適用されない事があります。軽傷でも、病院に行く可能性がある場合は、救護所にご一報ください。

④ 各カテゴリーにおいて、競技中に第三者から飲食物の補給を受けることは認めない。

⑤ 蛇行は反則であり、他の選手に危険を及ぼす走行を行った場合には、ペナルティを科す場合がある。

⑥ 競技コース全周にかけて競技者と観戦者との接触を避けるため緩衝帯を設けているので、緩衝帯に立ち入らないこと。

⑦ 試走時間を含め、各カテゴリーにおいて、自転車・ヘルメットへのカメラ/携帯電話の装着・搭載は認めない。（選手自身による競技走行中の撮影を認めない。）

⑧ 競技場内外の走行については、交通ルール・マナーを遵守し、他の車両の迷惑にならないようにすること。

※ 場外の走行は、移動目的だけとし、アップ目的での走行は一切禁止する。

※ アップゾーンはバックストレート側に設置する。

⑨ コースの横断については、設定される横断箇所でのみ行うこと。

⑩ クリテリウムについては、コース内側の未舗装エリアでの観戦を可とする。

※⑨～⑪の詳細は、後日提示されるコースマップを参照のこと。

5. 救急処置

① レース会場では、応急手当以外の処置は行いません。（救護所開設時間：9:00～16:30）

② 緊急搬送先病院

清恵会病院 ：〒590-0064 堺市堺区南安井町 1-1-1 TEL:072-223-8199

耳原総合病院 ：〒590-8505 堺市堺区協和町４丁４６５ TEL：072-241-0501

阪堺病院 ：〒590-0974 堺市堺区大浜北町 1-8-8 TEL:072-233-6745

※状況により別の病院に搬送される場合もあります。

9/7(土)タイムトライアルコース

丸は、カラーコーンを表す。
□は、テントを表す。

矢印は、走行方向を表示しています。

クリテリウムコース図

クリテリウム【FINISH 後の選手の退出】

FINISH 後の選手は、START を通り、 1ポイントからコース中央の 2ポイントから 5ポイント に集合し、MOTO の先導により、 コース外に退出する。

お願い事項

①第１駐車場でのローラー台の使用は、他の来園者の方に迷惑になるため使用を禁じます。

②第１駐車場から、大会会場への移動時は、自転車を押して下さい。